

報 東 白 川

発行 岐阜県加茂郡 東白川村 公民館 印刷 今井印刷所

37年度予算

一般会計三千八百万円

健全財政をさらに前進!!

▽：ことし一カ年の村の台所をあづかる当初予算がきまりました。

▽：この三十七年度予算は去る三月二十二日から開催された会期六日間

▽：の村議会に提出され、慎重な審議の結果原案どおり可決されたもの

▽：で、一般会計三、八〇〇万円、特別会計一、九四八万円、総額五、七

▽：四八万円にのぼる当初予算が成立しました。

予算編成については、従

来からの健全財政堅持を建

前として、通常経費面では

極力その節減がはかられ慎

重に計上されたところです

が、年々の物価指数の高増

や人件費の増加等に伴って

昨年度当初予算にくらべ大

巾に増額されています。

一般会計三、八〇〇万円

の内容は、これらの自然増

加分に加えて、特定な分と

して有線放送二五〇万円、

中学校敷地造成関係分二〇

〇万円等が当初に見込まれ

たため、昨年度より八〇〇

政のよりよき発展のため

に、

民健康保険の事業勘定が六

四四万六千円、施設勘定

一、一九八万円が計上され

たほか、分収造林会計が五

五万円、公益質舗会計が五

〇万六千円となり、特別会

計の合計においても約二三

八万円増加しています。

なお、この当初予算では

主として通常経費が見込計

上されたものであつて、こ

んごの新規事業等の経費に

ついては多額な追加を必要

としており、これらの村財

役場の機構を改善 事務の合理化にそなえて

世の中も増え、事務も複雑になつて

が、社

会機構が

だん、

複雑にな

つてきま

したが、

それだけ

に、役場

など各官

互の事務

互の協力

が進むに

つれ、社

会機構が

だん、

複雑にな

つてきま

したが、

それだけ

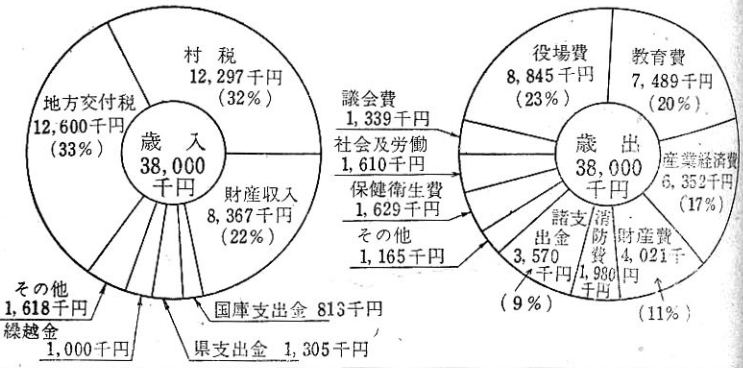
に、役場

など各官

互の事務

互の協力

昭和37年度歳入歳出予算 (一般会計)



新農村計画 特別助成事業 越原に製茶工場を新設

第三年目をむかえた本村の新農村計画は、それ

部門毎に細部の計画がた

られていたが、去る四

月七日に開かれた振興協

会で検討された結果、総額

二、八〇〇万円にのぼる本

年度の実施計画が決りまし

た。

この計画によると、こと

しの特別助成事業としては

越原にお茶の共同加工施設

をつくることになり、総

工費二九八万二千円で鉄骨

造平屋建(一部地下)延五

四坪の製茶工場を建てるは

か、最新式機械設備二セツ

トを購入し、近代的な製茶

(林業振興)

本村特産である白川茶の

生産拡充をはかり、前記特

別助成事業のほか、茶園一

〇ヘクタールの開畑新植な

どの事業がすすめられます

(林業振興)

一〇ヘクタールの造林

事業をはじめ、林道開設、

森林育苗などの事業が計画

されています。

(蚕業振興)

集団桑園三ヘクタール、

改植七ヘクタール、稚蚕共

同施設一棟(三〇坪)など

近代蚕業経営をめざしての

事業が推進されます。

(土地改良)

農道開設、用排水路改良

などの事業が行われます。

火の用心

国民健康保険、保健衛生

(病院)

【産業建設係】

農務、建設(農業委員会)

【教育委員会】

教育管理、学校教育、社

会教育(公民館)

【総務係】

庶務、管財、消防、統計、

議会、選挙、商工

【税務係】

税務、固定資産

【住民係】

戸籍、厚生、年金、職業

配給、公益質舗(へき

地保育所)

【保健係】

伸び行く 婦人「林業グループ」

田口ことさん全国大会へ出場

さきごろ県山林会館で行名で結成され、山林経営の

われた岐阜県林業改良研究 労働不足を私たちの手で補 大会に、加茂郡代表として

出席し、みごと第一位とな いた造林の手助けをしよう った加舎尾部落の双葉林業

グループ田口ことさんが、 すぎ苗の自家生産をはじめ こんどは岐阜県の代表とし

て、来る四月二十六日から 本村駐在の村雲林業指導員 三日間、東京で行われる全

国大会に出場し研究発表す ることになりました。 この双葉林業グループは

加舎尾部落の主婦たち一六 じ、家庭の主婦の悩みや農

業の悩みを語り合ひ、家 庭の悩みや農

業の悩みを語り合ひ、家 庭の悩みや農

業の悩みを語り合ひ、家 庭の悩みや農

業の悩みを語り合ひ、家 庭の悩みや農

業の悩みを語り合ひ、家 庭の悩みや農

家経営について話し合いや 農繁期の共同作業（本紙五 ○号で紹介）や蚕の共同飼 育などを行い、真剣に農業 経営の合理化を押し進めよ

うとしている主婦たちのグ ループです。 こんどの全国大会での発 表テーマは「私たちのグル ープ活動の歩み」となつて

おり、発表者の田口ことさ んは「グループ活動の単な る経過だけでなく、グルー プのこうした活動の中から

家庭の主婦の悩みや、年々 減少する農業労働力をどう するかを共同研究や、実践 事項の中から拾い出して訴 えた」と語っています。

予 定されていますので、した がつて明年九月までは七、 一九〇円の福祉年金が受け られることになりました。



相談室

【問】 現在 公務扶 助料を 受けて いる者 額が支給され、公務扶助料 などについては、その額が 七〇、〇〇〇円未満である ばあいに限つて、七〇、〇〇 〇円と支給を受けている額 の差額が支給されることに なつております。ところがあ

なたのように公務扶助料を 受けておられるばあい、扶 助料の額は、今年の十月か ら六二、八一〇円(兵)に明

年十月からは七二、四二〇 円(兵)に引き上げられること になりました。このように予 定されていますので、した がつて明年九月までは七、 一九〇円の福祉年金が受け られることになりました。

有線放送

三七六戸が第二次加入

月末までには全線開通

農村近代化のさきがけと 開始され利用できることに して、さきに本村に敷設さ

なっています。 これです、有線放送電話は二 月十五日放送が開始され

村内全戸数の九〇%が加入 してから早や二ヶ月、五六五 戸の加入者から大変便利だ

んと喜ばれていますが、その 漸次加入希望を募り、村内 後未加入者の間からも、加

入希望の声が増し、第二次 加入申込者数は、四月五日 現在で三七六名に達しまし

た。目下、これらの第二期 工事の順調に進められてお

り、二十日頃までには全部 の配線取付工事が完了する 予定です、二十五日頃までに

試験調整を終り、月末には 第二次加入者への本放送が

〇工事費

〇第二次加入者数

一般〓三四六、公共〓三

〇、合計〓三七六戸 (註、第一次加入者内訳 一般五五一、公共五四、 合計五六五)

総工費 二、六二、四〇〇円
内訳
メーカー諸渡額 二、三六、〇〇〇円
地元調達資材労力 二、二六、四〇〇円

工事諸費 一、〇〇〇円
合計 二、六二、四〇〇円
資金調達計画
加入者負担金三、〇〇〇円
内訳

(平均割) 一、三〇〇〇円
(等級割) 七〇〇、〇〇〇円
特別調達資金 七〇〇、〇〇〇円
雑収入 二、四〇〇円
合計 二、六二、四〇〇円

晴れの総裁表彰

山林功勞で村長へ 山を治めずして郷土東白 川の繁栄は成り立たないと

全国でもはじめてといわれ る分取造林事業の実施をは

じめ、成人の山の設定、林 道開築、山林緑化等々、森

林行政に最大な努力をそま いている河田村長の多年の

功績をたたえ、去る二十五 日伊勢神宮備林で行われた

大日本山林会の席上で、高 松宮総裁から表彰をうけら れました。

固定資産税4期分 完納にあと一息

昭和三十六年度分固定資 産税第四期分の期限内納付 成績は次の表のようでした

全体では、九八・七五パー セントで、神土が九八・七 一パーセント、越原が、九 八・六七パーセント、五加 が、九八・九七パーセント となりました。

順位	納税区名	納付成績
一	大口	一〇〇
一	神付	一〇〇
一	加舎尾	一〇〇
一	西洞	一〇〇
一	日向	一〇〇
一	除地	一〇〇
一	枌山	一〇〇
一	黒淵	一〇〇
一	下野	一〇〇
一	久須見	一〇〇
二	大沢	九八・三
三	下親田	九八・〇
四	上親田	九八・〇
五	伯本	九八・〇
六	大明神	九八・〇
七	宮代	九八・〇
八	中谷	九八・〇
九	中通	九八・〇
一〇	曲坂	九八・〇

納税で6部落を表彰

日頃の勞苦をたたえて

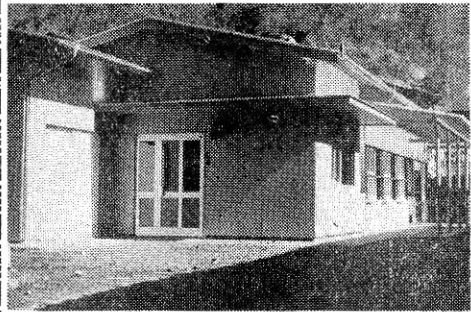
去る三に村長から表彰状、感謝状 が贈られました。 表彰 大口組 神付組 西洞組 曲坂組 黒淵組 久須見組 昭和三十六年度の 納税表彰 発展に協力された神土平安 江政太郎氏には、村長から 感謝状が贈呈されました。

完納で明るい わが家 わが部落

新しい給食室完成

4月から小・中なかまで実施

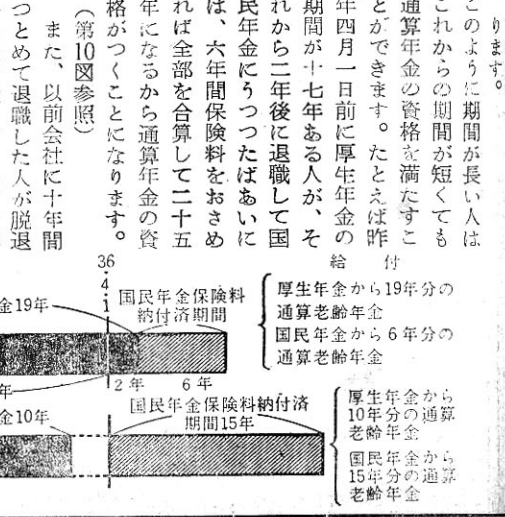
健康優良室は、総工費三百三万円、校の給食を一諸にやつてい
 校日本一の木造平屋建亜鉛メッキ鋼板
 記念事業と 棒瓦葺(延三七坪)
 して、かねの明るいペンキ塗り
 てから神土のモダンな建物で、
 小学校の裏 内部設備も重油によ
 地に建築中 る燃焼装置をはじめ
 の新給食室 食器消毒機、洗しよ
 が完成し、 り機など最新式の機
 去る三月十 械設備が完備してお
 五日関係者 り、県下でも最も近
 立会いのも 代的なモデル給食室
 とに火入式 といわれています。
 が行われま ちなみに、新学期
 した。 からはこの給食室で
 この給食 神土小学校と中学本



待望の……

通算年金が発足

どんな期間が、国民年金。それから国民年金のば
 金と通算されるかとい いあは、保険料納付済期間
 ますと、それは厚生年金を して一年以上あればよいわ
 はじめ船員保険や各種共済 組合など、いわゆる被用者
 年金の期間のすべてが通算 されます。しかしこの期間
 がどんなに短くてもよいと いうわけにはいかず一年以
 上は必ずなければなりません



小学校の教育は、昨年をもうけ、毎週継続して計
 の四月から新しい教育課 画的にまとまつた道徳教育
 程によつて行われていま を行う。
 すが、ことしの四月から また、各教科と道徳教育
 は中学校も新しい教育課 を関連させ、学校教育全体
 程で実施されています。 として道徳心の昂揚をはか
 この中学校の新しい教 程すること。

▽科学技術の向上をはかる
 こと。
 現代の科学や産業の急速
 な発展にそなえて科学技術
 教育の向上をはかる。とく
 に数学や理科の授業時数を
 増加し、内容の充実をはか
 ること。

新しい時代をめざし

中学の教育課程かわる

▽基礎学力を充実すること
 従来の教育課程では基礎
 新設して科学技術に対応す
 る能力や態度を養う。
 地理、歴史教育を改善し
 充実すること。
 社会科学について道徳の時
 間との関連調整をはかる

(3)

このように期間が長い人は
 これからの期間が短くても
 通算年金の資格を満たすこ
 とができます。たとえば昨
 年四月一日前に厚生年金の
 期間が十七年ある人が、そ
 れから二年後に退職して国
 民年金にうつつたばあいに
 は、六年間保険料をおさめ
 れば全部を合算して二十五
 年になるから通算年金の資
 格がつくこととなります。
 (第10図参照)

また、以前会社に十年間
 つとめて退職した人が脱退
 手当金を受けずにいて、昨
 年四月一日国民年金に加入
 したとすれば十五年間保険
 料を納付すれば通算年金の
 資格ができることになりま
 す。
 (第11図参照)

児童扶養手当

//支給はじまる//

児童にも児童福祉の立場から
 手当を支給しようという趣
 旨で制定されたものであつ
 て、この一月一日から発足
 した制度です。
 本村での児童扶養手当
 証書の交付を受けたのは現
 在一三人です。手当額は児
 童一人のばあいは月八〇〇
 円二人が一二〇〇円、三人
 が一四〇〇円となつていま
 す。

「若い土」に奨励賞 演技賞には田口君ら7名

演劇を通 白川青年団のこししの発表
 じて青年相 会を去る三月十八日、二十
 互の親睦を 一日、二十五日の三日間越
 はかり、同 原、神土、五加の三会場
 時に豊かな 開催しました。
 社会的、人 この演劇を審査したのは
 間性を養う 二十一日神土で上演した四
 という目的 つの劇で、審査員として古
 で、昨年か 田嘉十(社会教育主事、
 らコンクー 高橋道郎(八百津中教諭)、
 ルによる演 松平弘文(益田福祉事務所)
 劇発表を行 の三先生を招き、審査した
 つている東 結果団体では神土分団Aフ
 ◎個人演技賞
 「若い土」の源三
 今井賢二(シ)
 「若い土」の幸助
 安江啓次(シ)
 「地下水」の文平
 安江隆(シ)
 「シガマの嫁」の沢おじ
 安江力男(五加)

時代が移り変わるように農 次男幸助の努力がみられた
 村青年の考え方も新しい方 前半はスキのないペース
 向へと変つて行く。 で進んだが後半のまとめで
 青年の演劇も当然今まで 舞合装置、衣裳に研究が欲
 の娯楽的なもののみを求め しかった。
 の悩みや考えを演劇を通じ は民話劇ということもあつ
 て訴える社会革新と人間形 たが、今までのカラを破つ
 成を目的とした青年らしい た努力は大きい。
 演劇へ移行してきたことは 青年自身が今までの演劇の
 あり方に満足できず意欲的 にそれを追求したいと云う
 表れとして喜ばしいこと、 思う。

青年の演劇発表に寄せて

時評

装置、衣裳に研究の余地 置はこうあるべきだろう。
 はあつたが、演出の重要性 しかしこの劇の内容におい
 が如何に大事かを如実にみ て、一つ物足りなさを感じ
 せた劇だつた。 させた。一つ位は肩のこら
 それにくらべ「地下水」 ないコメディがあつてもよ
 は訴えようとする主眼はよ いのではないかと、安
 かつたが、演出においてあ 劇の一併優であることを自
 の劇としては失敗だつたの 動を盛り上げて貰いたいと
 なかろうか。 希望する。(文責古田政春)

田口和也(越原) 「一夕来福」の本間カネ
 安江千恵子(シ) 「若い土」のまさ
 今井つたえ(神土)
 「若い土」の源三
 今井賢二(シ)
 「若い土」の幸助
 安江啓次(シ)
 「地下水」の文平
 安江隆(シ)
 「シガマの嫁」の沢おじ
 安江力男(五加)



写真は奨励賞の「若い土」の一場面

春...送・迎 先生方の異動

毎年度末行われる県下の 学校の先生方の異動は、こ
 としても昨年につぐ大異動が あり、それぞれ四月一日付
 で発令されましたが、本村 には、東白川中学校長の転
 任をはじめ、つぎの先生方 が異動しました。
 ▽転出、退職の部
 (神土小学校)
 兼松 英 加治田小へ
 川島 徹 坂祝中へ
 野村道子 付知北小へ
 (越原小学校)
 野原ふさ 退職
 (五加小学校)
 小坂 求 東白川中へ
 栗本 衣 神土小へ
 (東白川中学校)

新しい... 組長さん紹介

吉田茂喜 神淵小へ
 長尾礼治 富加中へ
 畑中嘉暢 関ヶ丘中へ
 今瀬益男 武儀白谷小へ
 広瀬昭子 愛知県へ
 ▽転入、採用の部
 (神土小学校)
 小島昌司 土岐津小より
 栗本 衣 五加小より
 (越原小学校)
 蕨田竜興 新採用
 (五加小学校)
 高木善夫 不破赤坂小
 (東白川中学校)
 今井 透 白川小より
 渡辺孝義 美濃加茂東中
 山川 昭 安入東安中
 宮坂隆生 吉城保中
 小坂 求 五加小より

中学卒業生 の進路状況

九カ年の学校生活を終え
 この春実社会へ巣立つてい
 つた本村中学卒業生のその
 後の進路をたどつてみると
 八二名の卒業生中、村内に
 はわずか八名が残るだけで
 そのほとんどが村外へ転出
 しています。
 とくに、こししは高校進
 学希望者が多く、全国的に
 も競争率はげしい年では
 ありませんが、本村の場合
 全員がみごと合格ときまり

又内職	計	38
住宅内職	5	44
自給自足	3	82
就職	8	
外(制)職	14	
村職定	(2)	
職定	31	
職定	(2)	
職定	45	
職定	(4)	
職定	10	
職定	2	
職定	9	
職定	8	
職定	17	

ました。また、就職の方も
 求人難の時代だけに、それ
 ぞれ本人の希望する職に進
 んでおり、こんこの将来に
 明るい希望をもつてはげん

大川口今井博、平川古田
 芳男、下親田安江茂一、
 上親田有田安夫、中通
 村雲正吉、神付今井弘毅
 加倉尾新田義男、中谷
 樋口甲子郎、西洞村雲伝
 三、曲坂小池晴夫、日向
 松岡進、陰地田口孝、
 柄山馬淵一、黒淵安
 江喜好、大明神楯康夫、
 柏本土井正己、宮代安
 江圭一、大沢今井由造、
 下野今井梅夫、久須見
 池井戸清
 なお区長は三区とも再選